

JBMS

ページプリンタ用語 Glossary of terms for page printers

JBMS-50 : 2016

(2022 確認)

平成 28 年 6 月改正

(June, 2016)

一般社団法人 **ビジネス機械・情報システム産業協会**
Japan Business Machine and Information System Industries Association

プリンター・複合機部会 標準化分科委員会 委員構成表

(分科会長)	長 田 武 人	株式会社リコー
(副分科会長)	今 井 健	京セラドキュメントソリューションズ株式会社
	稲 見 浩 一	コニカミノルタ株式会社
	段 賢 一	ブラザー工業株式会社
	平 林 宏 行	カシオ電子工業株式会社
	上 蘭 勉	富士ゼロックス株式会社
	小 林 謙 一	キヤノン株式会社
	大 沼 和 幸	セイコーエプソン株式会社 (2015 年 10 月まで)
	中 西 弘 晃	セイコーエプソン株式会社 (2015 年 11 月から)
(事務局)	篠 原 正 志	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

標準化センター JBMS 推進専門委員会委員 構成表

(委員長)	本 橋 敦	株式会社リコー
	白 附 好 之	富士ゼロックス株式会社
	西 川 勝 正	キヤノン株式会社
	小 林 誠	コニカミノルタ株式会社
(事務局)	鈴 木 正 敏	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

規格番号 : **JBMS-50**

制 定 : 平成元年 7 月 20 日

改 正 : 平成 28 年 5 月 7 日

原案作成 : 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 プリンター・複合機部会
標準化分科会

審 議 : 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 標準化センター JBMS 推進専門委員会

制 定 : 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 標準化センター

この規格についての意見又は質問は、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 標準化センターへお願いいたします。

〒108-0073 東京都港区三田 3-4-10 リーラ ヒジリザカ 7 階 Tel 03-6809-5010 (代表)

目 次

	ページ
序文 (Introduction)	1
1 適用範囲 (Scope)	1
2 引用規格 (Normative references)	1
3 分類	2
4 ページプリンタの内部構成図	3
5 用語及び意味	5
解説	13

まえがき Foreword

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

This standard is copyrighted work protected by copyright laws.

Attention should be drawn to the possibility that a part of this Standard may conflict with a patent right, application for a patent right after opening to the public or utility model right which have technical properties. The Japan Business Machine and Information System Industries Association is not responsible for identifying the patent right, application of a patent right after opening to the public and utility model right which have the technical properties of this kind.

ページプリンタ用語

Glossary of terms for page printers

序文 (Introduction)

この規格の平成 18 年改正から 10 年が経ち、ページプリンタの技術も進歩した。さらに環境、セキュリティなどページプリンタに求められる要求も変化してきた。これらによって用語の追加及び修正の必要があることから、今回改正を行った。

This edition is a 10 year technical revision of the previous edition (revised in 2006). During these years technologies of page printers are significantly progressed and also the environment and requirements for a page printer dramatically changed. Reflecting these circumstances, addition of new terms and modification of some terms were done in this revision.

1 適用範囲 (Scope)

この規格は、ページプリンタで一般的に用いる用語、その意味について規定する

This standard defines terms used generally for page printers.

2 引用規格 (Normative references)

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

The following documents, in whole or in part, are normatively referenced in this document and are indispensable for its application. For dated references, only the edition cited applies. For undated references, the latest edition of the referenced document (including any amendments) applies.

JIS X 6931:2005 (ISO/IEC 19752 : 2004) モノクロ電子写真式プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印字可能枚数測定方法

JIS X 6932:2008 (ISO/IEC 19798:2004) カラー電子写真式プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印刷可能枚数測定方法

JIS X 6940 : 2011 (ISO/IEC 24734 : 2009) プリンタ及び複合機の印刷生産性測定方法

3 分類

この規格で用いる用語の分類は、次による。

- a) 機器仕様
- b) 用紙駆動系
- c) ページ印刷系
- d) データ処理系・フォント
- e) システムインタフェース
- f) コンピュータ
- g) 用紙
- h) セキュリティ
- i) 環境

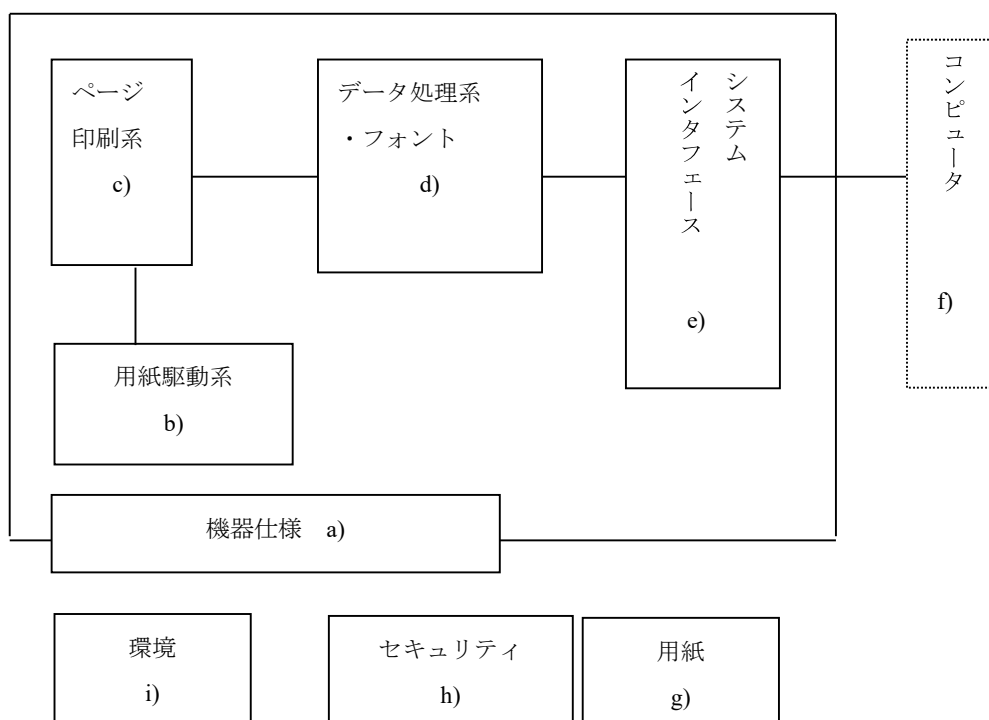


図 1—ページプリンタ用語分類のモデル図

4 ページプリンタの内部構成図

モノクロページプリンタ，カラーページプリンタ 4 連タンデム方式及び 4 サイクル方式の内部構成図を，図 2，図 3 及び図 4 に示す。

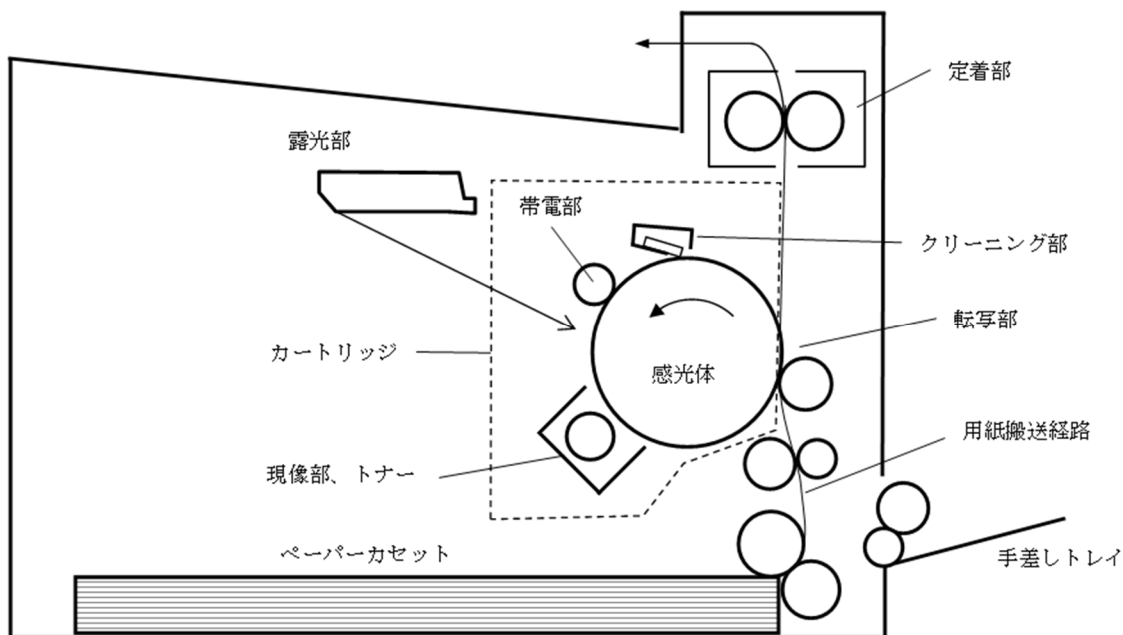


図2—モノクロページプリンタ

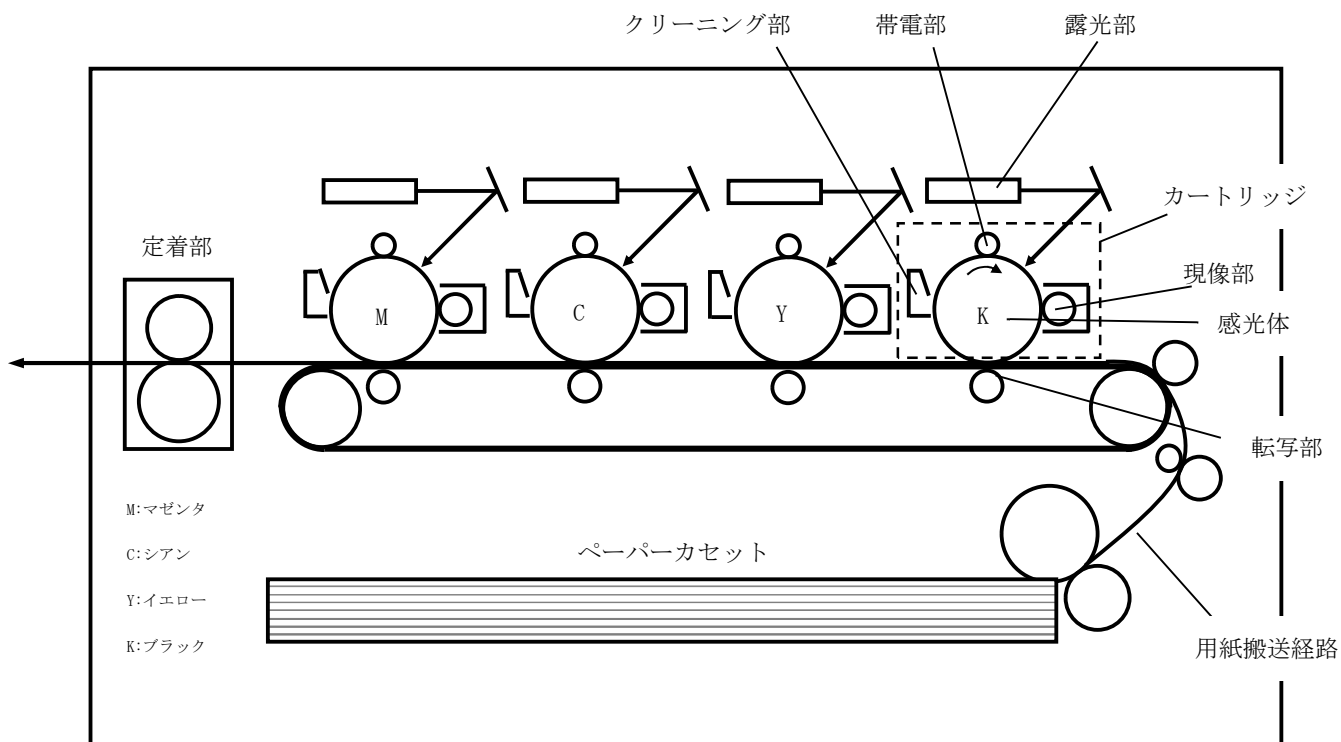


図 3—カラーページプリンタ (4 連タンデム方式)

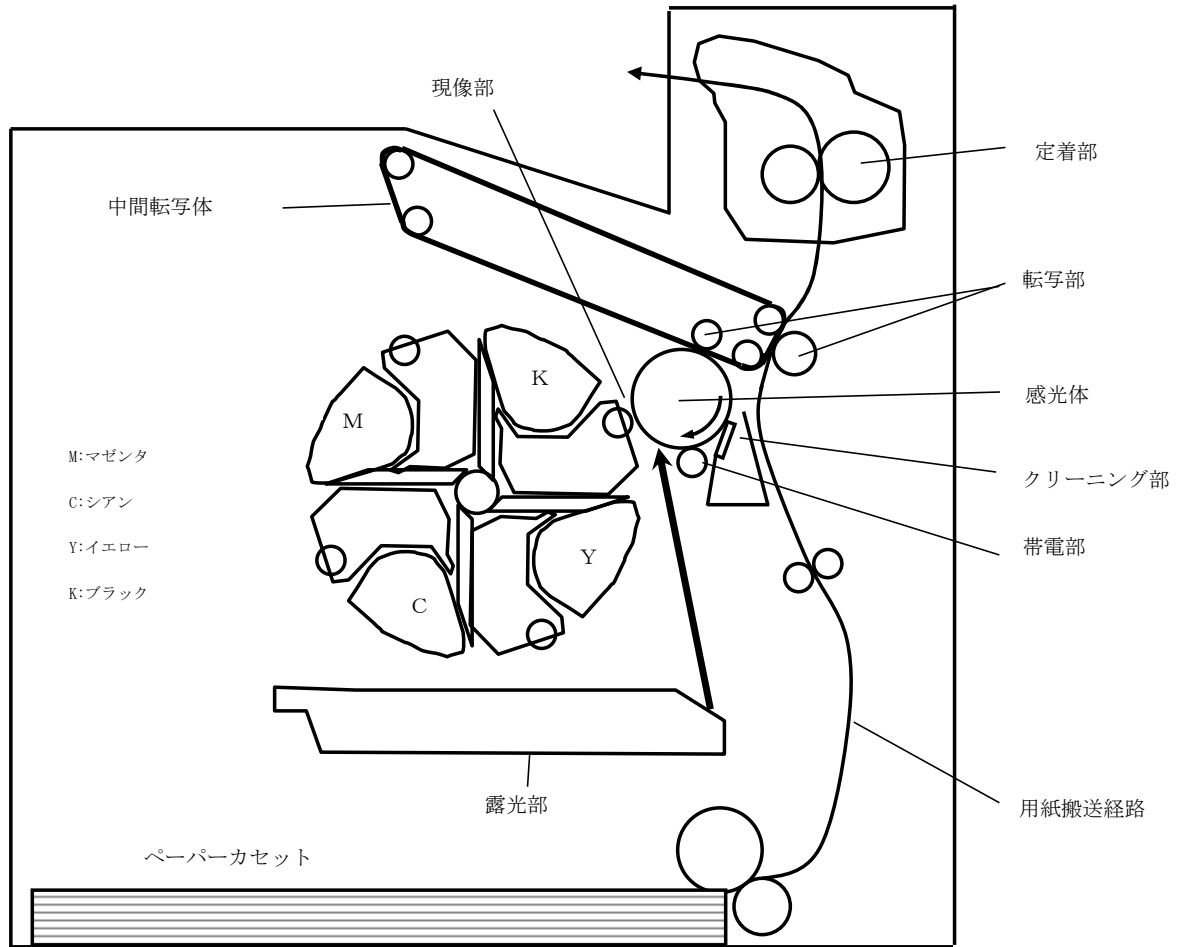


図4-カラーページプリンタ (4サイクル方式)

5 用語及び意味

用語及び意味、対応英語(参考)を下表に示す。用語の一部が () で囲まれている場合はその部分を省略してもよいことを表す。この場合 () 内を省略したときと省略しないときの間優先順位をつけない。

a) 機器仕様

機器仕様に関する用語及び意味、対応英語(参考)を表1に示す。

表 1

用語	意味	対応英語(参考)
デスクトップ	卓上型プリンタ。机上に設置して使用するプリンタ。	Desktop Type
プリンタエンジン	画像形成機構、用紙搬送機構及びそれらの機構を制御する機能をもつ装置。	Printer Engine
プリント速度	単位時間内に連続印刷できるページ数。単位は 枚/分, ppm (Pages per minute), ipm (Images per minute) などを用いる。 例) 20 枚/分, 20 ppm, 20 ipm	Print Speed
ファーストプリント時間	印刷を指示してから、1 枚目の用紙が完全に排出されるまでの時間。単位は秒を用いる。	First Print Out Time
印刷生産性	プリンタの性能を表す指標の一つ。 JIS X 6940 (ISO/IEC 24734) によって規定されており、代表的な指標としては、推定最大印刷速度(ESAT)、第1部印刷時間(FSOT)が挙げられる。 一般的には、ESATの測定値だけを記載し、その他全ての測定値を記載したフルレポートについては、参照先だけを掲載する事が多い。	Print Productivity
推定最大印刷速度	JIS X 6940 (ISO/IEC 24734) において規定されている印刷生産性の指標の一つ。 4 ページで構成される所定の原稿セットを N 部印刷する。N の値は、第1部印刷時間(FSOT)以降の印刷時間が30秒以上となる最小セット数としてあらかじめ求めておく。印刷開始ボタンを押してから N 部の排出が完了するまでのトータル時間と、第1部印刷時間を測定し、次の計算式で1分間当たりの画像面数で表す。単位は ipm(Images per minute) を用いる。なお、原稿セットは3種のアプリケーションソフトウェア(エクセル、ワード、PDF形式)のファイルで規定されており、それら3種ファイルによる測定値の平均値を表示することと規定されている。 $\frac{60 \times 4}{\text{トータル時間} - \text{第1部印刷時間}} \times N$	Estimated Saturated Throughput(ESAT)
第1部印刷時間	JIS X 6940 (ISO/IEC 24734) において規定されている印刷生産性の指標の一つ。4 ページで構成される所定の原稿セット1部を用い、印刷開始ボタンを押してから最終ページの排出が完了するまでの時間を表す。単位は秒を用いる。なお、原稿セットは3種のアプリケーションソフトウェア(エクセル、ワード、PDF形式)のファイルで規定されており、それら3種ファイルによる測定値の平均値を表示することと規定されている。	First Set Out Time(FSOT)

表 1 (続き)

用語	意味	対応英語(参考)
ウォームアップ時間	電源投入又はスリープ状態の解除から印刷可能になるまでに要する時間。単位は分、秒を用いる。 測定方法はそれぞれ次の 1)、2)を用いる。 1) 電源投入と同時に印刷を開始(PCで印刷指示をするなど)し、1枚目が完全に排紙されるまでの時間からファーストプリント時間を差し引いた時間。 2) スリープモードから印刷を開始(PCで印刷指示をするなど)し、1枚目が完全に排紙されるまでの時間からファーストプリント時間を差し引いた時間。	Warm Up Time
スリープモード	レディ状態よりも電力を節約して待機している状態。パワーセーブモード/低電力モード/省エネモード/節電モードともいう。	Sleep Mode
解像度	単位長さ当たりの画像を何ドット(点)で表すかを示す指標。	Resolution
dpi	解像度を表す単位で、25.4 mm (1 インチ) 当たりのドット数を表す。スムージング機能など擬似的に解像度を高める機能を利用した場合は、“〇〇 dpi 相当”として表現する場合もある。	Dot Per Inch (DPI)
装置寿命	製品動作を保証する期間又は印刷ページ数。 商品寿命/製品寿命ともいう。 例) 5 年間, 10 万枚	Machine Life
消費電力	消費電力とは、使用する電力の量を表す単位。電圧(V)×電流(A)で求められ、W(ワット)で表す。 消費電力は製品の状態によって変化するため、一般的には動作状態及び印刷可能状態(レディ状態)、スリープ状態それぞれの消費電力を併記する。 例) 最大 :500 W 動作時(平均) :80 W 印刷可能時 :20 W スリープ時 :1 W	Power Consumption
騒音	製品から発せられる騒音。稼働音ともいう。単位は B, dB を用いる。 騒音は製品の状態によって変化するため、一般的には動作状態及び印刷可能状態(レディ状態)それぞれの測定値を併記する。	Acoustical Noise
TCO	システムの導入、維持・管理などに係る費用の総額。 プリンタの場合は、製品価格に加え消耗品コスト、保守料金など導入後に係る費用の総額。	Total Cost of Ownership
トナーセーブ	トナーを節約する機能。 この機能を有効にすると印刷時に消費するトナーの使用量を抑える事ができるが、その反面画質は無効時のそれよりも劣る。節約の方法は、テキスト出力に使用するトナーはほぼそのままに、写真やグラフィックデータのトナーを効率的にセーブするなど色々な方式がある。	Toner Save
エコノミー印刷	トナーセーブ及び両面印刷、集約印刷などの各種節約機能の総称。	Economy Printing
イールド / 印刷可能枚数	トナー1本当りの印刷可能ページ数。JIS-X 6931/X 6932で規定されている。	Toner Yield / Print Possible Number
廃トナー	用紙に転写されずにプリンタ内の専用容器に回収されるトナー。	Waste Toner

表 1 (続き)

用語	意味	対応英語(参考)
ランニングコスト	消耗品価格を印刷可能ページ数で除して算出した 1 ページ当りの印刷コスト。消耗品には例えばトナー、感光体、廃トナー容器などがある。一般的には用紙又は定期交換部品は含まない。コストを算出する場合に必要な印刷可能枚数は、モノクロ印刷では「JIS X 6931」モノクロ電子写真式プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印字可能枚数測定方法”によって、カラー印刷では、「JIS X 6932」カラー電子写真式プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印刷可能枚数測定方法”によって求めた A4 文書の印刷可能枚数が使用される。	Running Cost

b) 用紙駆動系

用紙駆動系に関する用語及び意味、対応英語(参考)を表 2 に示す。

表 2

用語	意味	対応英語(参考)
給紙方式	印刷する用紙をプリンタに送り込む方式。	Paper Feeding Method
ペーパーカセット	印刷する用紙を格納し、プリンタに送り込むように構成された引出し状の容器。ペーパートレイともいう。	Paper Cassette
ユニバーサルカセット	カセット内の仕切り板などを移動することによって、複数のサイズの用紙を使用することができるように設計されたペーパーカセット。	Universal Paper Cassette
手差しトレイ	少量の用紙を置く給紙トレイ(特殊紙を用いることが多い)。	Manual Paper Feeding Tray
マルチ(パーパス)トレイ	多種類の用紙に対応でき、複数枚置くことができる給紙トレイ。MPカセット(トレイ)ともいう。	Multi (Purpose) Paper Tray
給紙容量	一つの給紙装置で印刷できる用紙の最大収容枚数。	Paper Supply Capacity
最大給紙容量	複数の給紙装置で用紙を補給せずに、印刷できる用紙の最大収容枚数。	Maximum Paper Supply Capacity
排紙方式	印刷された用紙をプリンタから排出する方式。フェイスアップ方式、フェイスダウン方式がある。	Paper Output Method
フェイスアップ	印刷面を上に向けて排出する機能。	Face Up
フェイスダウン	印刷面を下に向けて排出する機能。	Face Down
排紙トレイ	印刷された用紙の受け皿。出力トレイ、排出トレイともいう。	Output Tray
水平排紙トレイ	印刷機構に対して、水平方向に設けられた排紙トレイ。用紙を反らせずに送り出すことができるため、主に厚紙又は封筒に印刷する際に使用する。ストレート排紙トレイ/サイドトレイ/バックトレイともいう。	Straight Output Tray
排紙容量	印刷された用紙の収容可能な枚数。	Paper Output Capacity
メールビン	複数のビン(排紙トレイ)を備え、印刷された用紙を仕分ける装置。印刷ジョブごとに排紙するビンを指定することができる。	Mail Bin
フィニッシャ	印刷された用紙に、各種の後処理を施す装置の総称。代表的な装置としてステープル、パンチなどが挙げられる。 ・ステープル (Staple) : 複数の用紙を針などで綴じる装置。 ・パンチ (Punch) : ファイリング用の穴をあける装置。	Finisher
縦送り	用紙の短辺を先頭に搬送すること。	Short Edge Feed
横送り	用紙の長辺を先頭に搬送すること。	Long Edge Feed
ジャム	紙づまり。	Paper Jam

表 2 (続き)

用語	意味	対応英語(参考)
自動両面印刷	用紙を自動的に反転する機構を装置内にもち、用紙の表、裏に印刷する機能。 対する機能としてユーザーが自ら用紙を反転させてセットする手動両面印刷がある。	Automatic duplex printing 若しくは Automatic two-sided printing

c) ページ印刷系

ページ印刷系に関する用語及び意味、対応英語(参考)を表3に示す。

表 3

用語	意味	対応英語(参考)
電子写真方式	一様に帯電された感光体を露光することによって画像の静電潜像を形成し、トナーを用いて現像し用紙に転写、定着する方式。ゼログラフィともいう。	Electrophotographic Method
レーザ方式	電子写真の露光方式の一方式であり、レーザで露光を行う方式。	Laser Scanning Exposure Method
LED方式	電子写真の露光方式の一方式であり、LEDで露光を行う方式。	Light Emitting Diode Exposure Method
現像方式	感光体上の潜像をトナーによって、可視像(トナー像)に変える方式。現像方式には乾式一成分方式、乾式二成分方式などがある。	Developing Method
転写方式	感光体上に形成されたトナー像を転写ローラなどで用紙などの媒体に写す(転写)方式。 カラープリンタの場合、トナー像を直接媒体に転写せず、中間転写体としてのベルトに転写(一次転写)した後、媒体に一括転写(二次転写)する中間転写方式のものもある。	Transfer Method
定着方式	用紙などの媒体に転写されたトナー像を熱又は圧力を利用して固着させる方式。熱源としてハロゲンヒータ又はセラミックヒータ、IH(電磁誘導加熱)などがあり、構成としてはローラ方式やベルト方式などがある。	Fixing Method 又は Fusing Method
定着オイル	用紙上のトナー像が定着ローラ表面に付着しないように、ローラ表面に塗布するシリコンオイル。	Fixing Oil
オイルレス定着	定着にオイルを使用しない方式。	Oilless Fixing
IH定着	IH(電磁誘導加熱)を用いて直接金属ベルトを温める定着方式。	Induction Heating Fuser
粉碎トナー	トナーの原料となる色材や樹脂などに熱を加え、混ぜ合わせた後、冷却した固まりを粉碎し、製造されたトナー。	Grinded Toner
重合トナー	トナーの原料となる低分子量の樹脂原料を化学的に高分子化(重合反応)し、同時に色材を内包する方法で製造された球形かそれに近い形状のトナー。	Polymerized Toner
カートリッジ	顧客が簡単に着脱できるように設計された交換部品。現像器、感光体、トナー容器などの単体又はそれらを組合せたものをトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、プロセスカートリッジなどという。	Cartridge
4連タンデム方式	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各色に対する画像を同時に各色の感光体上に形成しつつ、中間転写体又は用紙に転写するプロセスを保有するカラー印刷方式。	Tandem Process
4サイクル方式	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各色の現像器によって感光体上に画像形成し、中間転写体に転写するプロセスを各色ごとに4回繰り返すカラー印刷方式。	4 cycle Process
印刷可能領域	印刷可能な用紙上の範囲。保証領域と記載しているケースもある。	Printable Area
印字率	用紙全体に対する印字された部分のドットが占める面積比率。	Coverage

d) データ処理系・フォント

データ処理系・フォントに関する用語及び意味、対応英語（参考）を表 4 に示す。

表 4

用語	意味	対応英語(参考)
プリンタコントローラ	コンピュータからのコマンドを受け、印刷及び画像を制御する機能を持つ装置。	Printer Controller
ページ記述言語 (PDL)	プリンタのソフトウェアインタフェース言語であり、レイアウト付けされたページ内容（ページレイアウト）を記述し、プリンタを制御する言語。 代表的な PDL としては、PostScript3, PCL6, PDF, XPS LIPS LX, ART EX, RPCS, ESC/P, 201PL などがある。	Page Description Language (PDL)
エミュレーション	他のプリンタ用に定義されたページ記述言語を解釈し、同等な印刷を可能とする機能。 利用の背景の一例として、古いプリンタからの置き換えの際などに効力を発揮する。	Emulation
印刷ジョブ	一度の印刷要求で出力される印刷作業及び印刷文書。	Print-job
フォームオーバーレイ	あらかじめ登録された定型フォームデータに新たに受けたデータを自動的に合成する機能。	Forms Overlay
ステータスプリント	プリンタの設定内容などを一覧で印刷する機能。	Status Print
標準フォント	プリンタに標準搭載されているフォント。	Standard Font
ダウンロードフォント	コンピュータからプリンタに転送されるフォント。	Download Font
ビットマップフォント	文字の形状をドットの配置情報として持っているフォント。	Bitmap Font
アウトラインフォント	文字の形状を直線、曲線などの輪郭情報データとして持っているフォント。	Outline Font
スムージング	解像度を擬似的に高め、斜め線又は曲線を滑らかに補正することによって、文字又は図形などの画質を向上させる機能。	Smoothing
カラーマネジメント	ディスプレイ、スキャナ、プリンタなど異なる装置の間で、同一の色に表現できるようにシステム環境を整えること。	Color Management
カラーユニバーサルプリント	色弱な方などにとって見分けにくい色を見分けやすく変換して印刷する機能。自動的に網かけや下線を施すなどの処理を行うこともある。カラーユニバーサルデザイン対応印刷ともいう。	Color Universal Print
メモリ	受信データ処理や印刷処理などに使用されるデータ格納媒体。揮発性又は不揮発性のものがある。 システムメモリともいう。	Memory

e) システムインタフェース

システムインタフェースに関する用語及び意味、対応英語（参考）を表 5 に示す。

表 5

用語	意味	対応英語(参考)
IEEE1284	プリンタインタフェースとして標準的であったセントロニクス仕様をベースに、高速化、双方向通信などを考慮し、IEEE が規格したパラレルインタフェース。そのモードとして ECP (Extended Capabilities Port), EPP (Enhanced Parallel Port) などがある。	Institute of Electrical and Electronic Engineers 1284
USB	シリアルインタフェースの一つの方式。主にコンピュータと周辺機器との接続に使われる。現在ではプリンタインタフェースとして標準的になっている。	USB(Universal Serial Bus)
IEEE802.11	IEEE が規格化した無線 LAN 方式の一つ。 IEEE 802.11a/b/g/n など各種方式がある。	Institute of Electrical and Electronic Engineers 802.11

表 5 (続き)

用語	意味	対応英語(参考)
Bluetooth™	無線を使ったインタフェース方式の一つ。コンピュータ又は携帯電話、プリンタなどの間で、ケーブルを使わずに短距離間でのデータのやりとりができる。	Bluetooth™
IrDA	赤外線を使ったインタフェース方式の一つ。コンピュータ又は携帯電話、プリンタなどの間で、ケーブルを使わずに短距離間でのデータのやりとりができる。	IrDA(Infrared Data Association)
BMLinkS™	インターネットを介して、複数の製造業者の OA 機器を制御してデータ交換ができる相互通信機能。プリンタでは異なる製造業者の機器を共通のプリンタドライバで印刷できる。	BMLinkS™
NFC	主にセキュリティ印刷の認証として用いたり、WiFi ダイレクト印刷のペアリングとして用いる。印刷することもできる。	NFC(Near Field Communication)
プリントサーバ	ネットワークに接続されたプリンタに対し、プリントサービスを提供するサーバ。プリンタにプリントサーバ機能を持つものもある。	Print Server
TCP/IP	ネットワーク印刷で使用される代表的なプロトコル。このネットワーク印刷ポートを作成する際、ネットワーク印刷のプロトコルとして、LPR と RAW のどちらかを選択する。	TCP/IP (Transmission Control Protocol /Internet Protocol)
LPR	プリントサーバ機能を内蔵したプリンタに直接印刷データを送ることができるプロトコル。	Line PRinter daemon protocol
RAW	TCP/IP プロトコルなど、一般のプロトコルだけを使用するネットワーク印刷のこと。	RAW
SMB	ネットワークを経由してファイル又はプリンタを共有するためのプロトコル。	Server Message Block
WSD	“WSD” はネットワーク接続を実現するプロトコルであり、複合機又はプリンタデバイスの検知 (インストール) 又はデータ送受信ができる。	Web Services on Devices
PictBridge	デジタルカメラとプリンタを直接接続して印刷するための通信規格。	PictBridge
ダイレクト印刷	PDF はじめ TIFF, JPEG 形式などのファイルをパソコンを経由することなく印刷できる機能。	Direct Print
モバイルプリント	モバイル端末 (スマートフォン/タブレット端末) から印刷できる機能。AirPrint/ Mopria®/WiFi ダイレクトなどの方式がある。	Mobile Print
クラウド印刷	クラウドから印刷する機能。	Cloud Print

f) コンピュータ

コンピュータに関する用語及び意味、対応英語 (参考) を表 6 に示す。

表 6

用語	意味	対応英語(参考)
プリンタドライバー	アプリケーションソフトウェアから印刷データをプリンタに合せて印刷するためのソフトウェア。	Printer Driver
ページレイアウト	印刷物の仕上がりを設定する機能。	Page Layout
ポスター印刷 (分割印刷, 拡大連写印刷)	複数枚の用紙に 1 ページ分を分割して印刷する機能。	Poster Print
N イン 1 印刷 (合成印刷)	1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷し、用紙が節約できる機能。2 in 1, 4 in 1, N アップ, N ページモード, 集約機能, 割付印刷, マルチページ印刷ともいう。	N Up Print
製本印刷	プリンタの出力用紙を製本できるように、ページを並べ替えて印刷する機能。	Booklet Printing

表 6 (続き)

用語	意味	対応英語(参考)
スタンプ印刷	あらかじめ用意したマークをデータに付加して印刷する機能。マークには“CONFIDENTIAL” “(秘)” “社外秘” “コピー禁止” などがある。ウォーターマーク、すかし印刷ともいう。	Watermark

g) 用紙

用紙に関する用語及び意味、対応英語(参考)を表7に示す。

表 7

用語	意味	対応英語(参考)
用紙サイズ	印刷する用紙の大きさ。A系列(A3, A4など), B系列(B4, B5など) インチ系列(レター, リーガルなど)などがありこれらを定形サイズという。	Paper Size
SRA3	A3サイズよりひと回り大きな用紙サイズ。トンボマークなどを印刷する用途に使用される。A3ワイド, A3 full, A3ノビと言われていたが, SRA3に統一されてきている。	SRA3(Supplementary Raw A3)
長尺紙	A4又はA3サイズなどの定形用紙に比べて紙送り方向に長い紙。	Banner Paper
坪量	用紙の単位面積当たりの質量。1平方メートル当たりの質量(g/m ²)で表す。(参考: “連量(れんりょう)” は一定寸法に仕上げられた紙1000枚(一連)の質量をkg表示したもの。)	Paper Weight 若しくは Basis Weight
上質紙	原料のパルプ成分として、漂白化学パルプの配合率が100%の紙。	Pure Paper
再生紙	原料のパルプ成分として、古紙からの再生パルプを一部又は全て使用して製造した紙。	Recycled Paper

h) セキュリティ

セキュリティに関する用語及び意味、対応英語(参考)を表8に示す。

表 8

用語	意味	対応英語(参考)
セキュリティ印刷	出力するものが他人に見られないように印刷できる機能。パスワード入力又はICカードによる認証後に印刷される。	Secure Print
地紋印刷	複写機でコピーすると地紋が浮き上がる隠し文字を特殊なパターンに埋め込んで印刷する機能。ペーパーセキュリティ/コピープロテクト/セキュリティウォーターマークともいう。	Pattern print
ユーザー認証	電子認証によって機器を使用できる権限を持つユーザーであるかどうかの確認などを行う。ベーシック認証, Windows™認証, LDAP認証, 統合サーバ認証, ユーザーコード認証などがある。	User Authentication

i) 環境

環境に関する用語及び意味、対応英語(参考)を表9に示す。

表 9

用語	意味	対応英語(参考)
エコマーク	(財)日本環境協会が環境への負荷の低減などを通じて環境保全に役立つと認定した商品に付けるマーク。2001年10月にプリンタの認定基準が制定された。	The Eco Mark Program

表 9 (続き)

用語	意味	対応英語(参考)
国際エネルギースタートプログラム	OA 機器の消費電力を低減するために、一定の基準をクリアした機器に対してロゴ表示を認める国際的な任意登録制度。プリンタでは、印刷終了後に省電力モードに移行するまでの時間及び省電力モード時の消費電力が規定されている。	International Energy Star Program
グリーン購入法	“国などによる環境物品などの調達の推進などに関する法律”(平成 12 年 5 月 31 日公布。平成 12 年法律第 100 号)の通称。国又は地方公共団体による環境負荷の少ない製品の調達推進の法律。プリンタの場合、再生紙対応、本体のリサイクル、消耗品のリサイクル、省電力モードへの移行時間及び省電力モード時の消費電力などが判断基準として規定されている。	Law on Promoting Green Purchasing
RoHS	欧州指令 2002/95/EC (通称 RoHS 指令) の事を指す。人体への影響、及び環境負荷の低減を目的として 2006 年 7 月より発効。鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・特定臭素系難燃剤 2 種類を含む電気電子機器の販売が禁止されている。 2011 年 7 月に改正版が施行。医療機器など対象商品が拡大されたが、使用制限物質に変更は無し。	Restriction of Hazardous Substances
エネルギー消費効率	年間を通じた標準的消費電力量。 エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法) 経済産業省告示第 37 号 平成 25 年 3 月 1 日 にて定められた算出方法を用いる。 例) 80 kWh/年	Energy Consumption Efficiency
TEC	国際エネルギースタートプログラムの画像機器試験方法に規定されている、規定時間にわたり通常動作している間の標準的消費電力量。平均的なオフィスの利用形態を想定した概念的一週間(稼動状態とスリープ/オフ状態が繰り返される 5 日間とスリープ/オフ状態の 2 日間)当たりの消費電力量(kWh/Week)で表す。	Typical Electricity Consumption

ページプリンタ用語 解説

この解説は、本体及び附属書に規定・記載した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1 制定の趣旨

この規格は、一般の使用者がカタログ、取扱説明書などを理解する上で分かりにくい言葉、及び製造業者が標準化のために必要な用語などを定めた。

2 改正の経緯

JBMS-50（ページプリンタ用語）は1989年に制定、発行され、その後1996年に改正された。

2003年には、1996年改正時のコンピュータ環境はOSによるプリンタードライバーの整備が進んでおらず、またモノクロ機主体の環境であったが、OS組み込みによるプリンタードライバーの充実、ネットワーク環境の整備、カラーページプリンタの登場によって、用語自体をカバーすることが困難になったため、2003年5月に改正を行った。

2006年には、2003年改正のJBMS-50に新たな用語を加えてJIS化を目指したが、プリンタ全般の用語のJIS化しか認められず、作業が進んでいた関係から改正JBMS-50として一般にも理解しやすい内容に書き換えた。見直しに当たっては各社の製品カタログを基に新しい用語の調査をして、代表的な用語の抽出を行った。また、既に使用されていない用語については削除した。

今回（2016年）の改正は、**JIS B 9527:2015** ページプリンタ仕様書様式及び最新の製品カタログを基に見直しを実施。**JIS X 6940**（ISO/IEC 24734）の生産性の改定項目を反映した。また、ユーザーの関心を集めているセキュリティや環境関連項目を追記した。

3 主な改正点

主な改正点は、次のとおりである。

- a) 環境/セキュリティ関連の分類を新たに追加した。
- b) システムインタフェースとコンピュータを分離した。
- c) **JIS X 6940**（ISO/IEC 24734）によって生産性が規定されており新たに追加した。
- d) 説明が不要な一般用語を削除した。
- e) 各用語に割当てられていた番号を削除。割り付けを見直した。

JBMS-50 ページプリンタ用語

編集兼

中西 英夫

発行人

発行所 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

〒108-0073 東京都港区三田 3-4-10 リーラ ヒジリザカ 7階

Tel 03-6809-5010(代表)